



みんなの力でみんなの幸せ

s a w a r a b i

さわらび

11

November
2007
vol.415

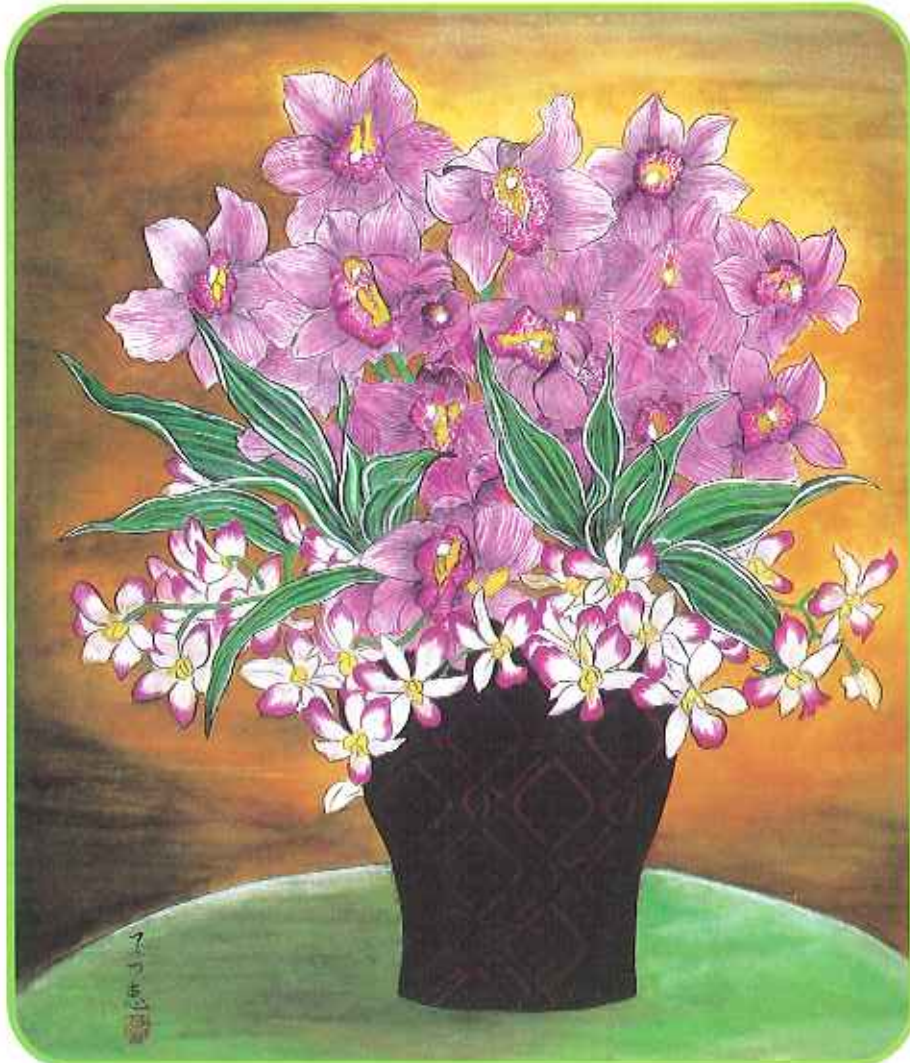
医学
講話

「うつ病のプライマリ・ケア」

福岡大学薬学部臨床薬物治療学 高橋 三津雄

詩集

さわらび文化祭秋陽展



「うつ病のプライマリ・ケア」

福岡大学薬学部薬物治療学 高橋 三津雄

(1) 自殺とうつ病

1998年以降、我が国の年間自殺者は3万人を超え、自殺未遂者はその10倍にのぼると言われています。自殺既遂者の約30%は、うつ病に代表される気分障害に罹患しているという報告があります。

うつ病は、意志の弱い人や怠け者がかかる病気ではありません。一生のうち、一度でもうつ病にかかる率は、約15%と言われています。ですから、誰でもかかる可能性のある脳の病気なのです。本人が自殺したいのだから、止めるのは無理だということもありません。明確な意志を持っていなくても、ふとしたはずみに思いもよらない行動をすることがあるように、自殺願望は、衝動的で

あることも多く、自殺について話し合うことにより、回避することも出来るからです。

薬物療法についても、抗うつ薬のむと人がかわってしまおうということもありません。自殺によって、本人のみならず、その周囲の人々が苦しみから開放されるなどということとは、絶対あり得ません。

このように、自殺は避けるべき死なのです。うつ病の効果的な治療により自殺者数を大幅に減少させることが出来るのです。



(2) うつ病の早期発見

うつ病の症状は、身体症状と精神症状とに分けられます。したがって、身体症状を主訴にプライマリ・ケア

医や一般内科医を受診した早期のうつ病患者を見分けることは重要です。

身体症状には、睡眠障害、全身倦怠感、食欲不振、頭痛、肩こり、めまい感、性欲減退、耳鳴り、口渇、胸部圧迫感、心窩部不快感、嘔気、腹痛、便通異常、腰痛、手足のしびれなどがあり多彩です。この中でも、睡眠障害は初期の身体症状として重要です。気分障害患者の80%以上に、寝つけない、夜中に目が覚める、早朝目が覚める、日中眠い、などの症状が認められます。

精神症状としては、憂うつ感、悲哀感、興味や喜びの感情の喪失などを示すうつ気分があります。何をやるにもおっくう、意欲の低下、集中力の低下、決断力の低下、行動の遅滞など生命エネルギーの減退による

意欲・行動の障害が現れます。次第に、思考の抑制や罪業妄想、無価値感、自責感、貧困妄想、自殺念慮、自殺企図などの悲観的な考え方が主体となってきます。

これらの症状が、しばしば朝方に目立ち、夕方には元気が出てくるという日内変動を示したり、春・秋や数年周期で悪化するという周期性変動を示したりします。またうつ病の病前性格として、秩序に従うこと、几帳面、過度の良心性、小心さなどが挙げられます。

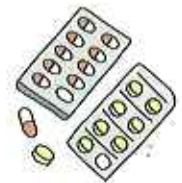
このような身体症状、精神症状が神経系も含めた身体疾患によらずに起こり、2週間以上続く場合に、うつ病を考慮して診療に当たることがあります。



(3) うつ病の病態

うつ病の成因としては、生物学的な要因として、脳内のセロトニンなどのモノアミン類の欠乏・枯渇によるとする神経伝達物質関連モデル、シナプス間隙に放出された神経伝達物質の受け皿である受容体以下のシグナル伝達が障害されるとする細胞内情報伝達関連モデル、視床下部―下垂体―副腎系の過活動や調節障害、ストレスに対するこの系の過剰反応とする神経内分泌モデルなどが提唱されています。

気分障害の中でも、双極性障害(躁うつ病)や若年発症例では、遺伝的要因が強いと考えられています。また、心理社会的成因として、幼少期における愛情剥奪や対象喪失などの不幸な体験が、成人期のうつ病の素因になるという、幼少期心的外傷モデルや、様々なライフイベントが関与するという報告があります。



(4) うつ病の治療

うつ病では、様々なストレスのきっかけになる出来事が重なり、周囲のサポートが不足する条件が追い討ちをかけ、その結果、出来事を処理する脳がパンクして脳の機能不全が生じます。脳の機能不全は、極端な考え方である否定的なものにとらえ方を生みます。

うつ病患者は、病気ではなく怠けである、性格は直せない、どうせ薬なんか効かない、こんな体の状態ではダメだ、というように否定的認知に傾きがちです。このような否定的認知があることを念頭に置きながら、患者の困惑に共感する態度が重要です。そして、いま患者が悩んでいるのは、うつ病という病気であって、

本人が考えている怠けや弱さによるものではないことを確認する必要があります。さらに、自分だけがとんでもない状態に陥っているわけではなく、うつ病は誰でもかかりうる類度の高い病気であり、しっかりと治療法があることを説明します。

できる限り、休養、ストレスからの解放をはかり、安易な励ましや気晴らしの勧めをしないように心がけます。治療中は、人生の大決断を避けるように忠告することも大切です。退職して、今の環境から離れなければどうしようもない、というような極端な判断は後回しにします。

このような医師―患者関係が築ければ、薬物治療の導入も容易になります。

まず、睡眠障害の改善のために睡眠導入剤を使用します。作用時間の異なる薬剤を組み合わせて使うことも必要です。

次に、うつ症状の改善のために、選択的セロトニン再取り込み阻害薬

(SSRI)、セロトニン・ノルアドレナリン再取り込み阻害薬(SNRI)、時に三環系抗うつ薬(TCA)を使用します。

SSRIでは悪心・嘔気が、SNRIでは前立腺肥大症の方で排尿障害が、TCAでは様々な抗コリン作用による副作用があります。多くの場合、ベンゾジアゼピン系の抗不安薬を併用することになります。抗うつ薬は、即効性がなく、2週間程度の内服ではじめて効果が現れることを事前に説明しておきます。

また、内服開始時や増量時に、賦活症候群と呼ばれる薬物の効き過ぎの状態が認められることがあり、自殺企図などの異常行動の発現に注意し、十分な経過観察が必要になります。



田原の福祉の今

「行政とともに歩んで」

田原市障害者生活支援センター

田原市より「生活支援事業」を委託され、「田原市障害者生活支援センター」が開設され、一年半が経過しました。田原市内でさまざまな事業を展開していく中で、行政と事業所そして地域の皆さんとのつながりが密になってきました。なかでも「行政の果たす役割」が、私たち事業所にとっては、いつもお互いに寄り添って歩んでゆける関係であり、心強く感じています。

「市民福祉フォーラム in たはら」開催される

平成19年9月29日、「東三河障がい福祉研究会」主催の「市民福祉フォーラム in たはら」に支援ワーカーの池田がパネリストとして参加しました。小雨の降る一日でしたが百名以上の方が参加されていました。何よりも、田原市福祉部長さんをはじめ福祉課の職員の方々が参加され、私たち事



●市民福祉フォーラム パネルディスカッションの様子

業所にとっては心強く感じました。午後からのパネルディスカッションにはお忙しい中、市長さんも出席してください、行政がより近くに感じられ、何かが変わっていきそうな空気を感じました。

「田原市地域生活支援 ネットワーク会議」を通して

田原市障害者生活支援センター開設より、「田原市地域生活支援ネットワーク会議」を月に一度開催し、

行政と支援センターが中心となり、田原市内における支援のネットワーク作りに取り組んできました。

どこの市町村においても、さまざまな困難事例や相談が毎日入ってきます。田原市では、ケース検討会に福祉課の方も出席し、支援センターや事業所とともに事例の検討を行っています。

また自宅訪問にも同席していただくことで、デスクワーク以外でも事例を共有でき、事業所が困難な事例や相談を抱え込むことなく、行政と事業所が同じ日線と考えていくことが可能となっています。行政サイドのフットワークの良さにはいつも感心しています。さらに、行政が動くことで支援の輪も広がりがつつあります。そして、ネットワーク会議や誰で

も参加できる「たはらサロン」を通して、市民の皆さんの声を反映したさまざまな田原市独自の事業も生まれてきました。

田原市自立支援協議会 準備委員会では

これまでの動きを軸にし、平成19年度中に「田原市自立支援協議会」が立ち上がります。田原市地域生活支援ネットワーク会議のメンバーが中心となり、準備会を開催しています。行政中心ではなく、運営会議の事務局を福祉課と支援センターに置くことで、行政と事業所が共同で考え、地域の皆さんの「小さな声」を協議会で反映していく予定です。

行政・事業所・地域の皆さんがいつも同じ日線と考えていける、そんな街作りを目指してこれからもともに歩んでいきたいと考えています。

(池田)





●2007年10月11日講義

「高齢者におけるNST」

福祉村病院 医師 赤津 裕康

消化器の基礎知識と

その意外な一面

腸内にはバイエル板主にリンパ球が大量に生息し、体内では最大のリンパ球集団となり、主にIgAを産生しています。動物実験では48時間胃腸を使わないと、栄養を吸収するために必要な絨毛が萎縮し、粘膜の免疫に関与するIgAが腸管のみならず、肺気管支の粘膜も大幅に減少します。さらに肝臓には門脈から腸内細菌の一部が侵入しているといわれています。

つまり、口から食べることは全身の免疫機能を保つためにもとても大切であると言えます。

高齢者栄養状態把握の基礎

高齢者では嚥下力が落ち、喀痰量が増えることで、誤嚥性肺炎のリスクが高まるなどの問題が生じます。

日本の病院では消化器を専門とした病棟以外では栄養状態把握がおろそかとなり、栄養不良が治療に影響する状況が発生してきました。栄養状態が良好な方に比べて、栄養不良状態では合併症の発生率が2〜20倍に上昇し、余計な治療が必要となつてしまっています。

当院では2005年より、NST (Nutrition Support Team)、栄養サポートチームを立ち上げ、医師、看護師、薬剤師、管理栄養士等の多職種が協力し、個々の患者さんや各疾患治療に応じて栄養管理をしています。現在は2週に1回のミーティングと回診を行っています。

世界的にコンセンサスの得られた栄養評価法には主観的包括的評価 (S-GA) と客観的データ評価 (ODA) があります。当院ではS-GAを入院患者全員に施行し、栄養不良状態の方にはさらに血液検査等を行い、ODAを施行しています。

●2007年10月25日講義

「みんなの力で支える

障害者の地域支援」

たまも荘障害者生活支援センター

相談支援専門員 松井 伸大

障害者福祉の大きな改革の中で、「地域支援」がキーワードの一つとなっています。どんなに重い障害を持っていても住み慣れた地域の中で当たり前に生活ができる社会を目指していくという考え方は、ノーマライゼーションの理念以来、ずっと目指されてきました。しかし、現実にはまだまだ大きな壁があり、その実現には、困難なこともたくさん待ち受けています。

一方、地域生活では施設での生活以上に、自らの生活を自身で組み立て、地域で共に暮らす住民と一緒に社会を作っていくという喜びもあります。

近年、障害者福祉サービスの事業所はどんどん増えていますが、地域生活では、福祉サービスの利用だけでは限界も生じてきます。生活に

おいては福祉の領域だけではなく、医療、保健、就労、教育等様々な分野も関係することが多くみられますし、社会参加というものを視野に入れますと公的な制度だけではなく、隣人等地域で生活をされている人々との関係が不可欠なものとなります。こうした多岐にわたる機関、人々と連絡調整するために、障害者の分野にもケアマネジメントの考え方が導入され、その手法を使う機関として、支援センター等相談支援事業所が位置づけられました。

支援センターの実践では、地域で生活をしていても、地域社会から孤立した生活をされている方もみえます。地域で生活をするのが目的ではなく、地域で幸せに、そして豊かな生活をおくることを目指す、そうした支援が大切になってきます。

「地域か施設」かの選択ではなく、施設職員も常に地域を意識して、そして、利用される方も「あらゆるものを使いながら夢が実現できる」そんなみんなの力で支え合う地域づくりが必要になってくると思います。

芸術の秋を 彩る

第26回さわらび文化祭

秋陽展

優秀作品 誌上作品展

◆山本理事長コメント

今回は優秀作品が非常に多く、選ぶのにとっても苦労しました。さわらび会でこのような素晴らしい作品が多く生まれたことを非常にうれしく思います。

※紙面の関係上すべての作品を紹介できない事を深くお詫び申し上げます。



●写真部門 **特選**
「オランウータンの親子」
瀧名 健太さん(あかね荘)



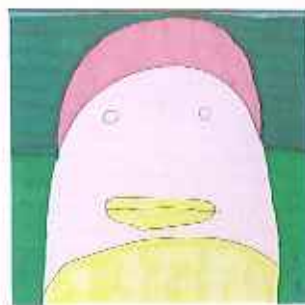
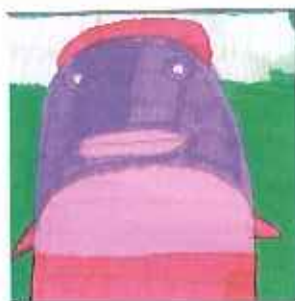
●絵画部門 **入選**
「ふぐ」
近藤 淳子さん(しろがね)



●写真部門 **入選**
「ぼくのまち」
桜井 宏光さん(珠藻荘職員)



●手工芸部門 **入選**
「紙人形」
佐々 あきのさん(若菜荘)



● 絵画部門 **入選**
 「ペンギンとしろくま」
 服部 憲政さん(明日香)



● 手工芸部門 **入選**
 「黒武尉」
 川上 三次さん(第二さわらび荘)



● 書道部門 **入選**
 「松」
 山本 草子さん(明日香家族)



● 書道部門 **入選**
 「川やなぎ」
 三浦 見依子さん(珠藻荘)



● 陶芸部門 **入選**
 「手乗りライオン」
 木下 吉見さん(若菜荘)



● 陶芸部門 **入選**
 「花瓶」
 小林 文子さん(若菜荘)

◆ 絵画部門

特選 古瀬てつさん(カサ デ ロイザ)
 入選 服部憲政さん(明日香)

居澤知佳さん(ジユケム職員)
 近藤淳子さん(しろがね)

◆ 書道部門

特選 古川竹一さん(ジユケムデイケア利用者)
 入選 三浦見依子さん(珠藻荘)

山本草子さん(明日香家族)
 坂牧由里子さん(若菜荘職員)

◆ 陶芸部門

特選 大島康之さん(あかね荘)
 入選 小林文子さん(若菜荘)

木下吉見さん(若菜荘)

◆ 手工芸部門

特選 村越健吾さん(あかね荘職員)
 入選 川上三次さん(第二さわらび荘)

◆ 写真部門

特選 瀧名健太さん(あかね荘)
 入選 安江桂子さん(珠藻荘)

桜井宏光さん(珠藻荘職員)



F1日本GP

左近の激走にファンも興奮

霊峰富士を望むサーキットに左近選手が帰ってきた。多くのファンに見守られ、最悪のコンディションのなか予選が始まる…

● 誰よりも最初に、そして最後までファンのサインに抱える左近選手

30

年ぶりに霊峰富士を望むサーキットにF1が帰ってきた。

1976年、この富士スピードウェイで日本初のF1グランプリが開催された。日本にとつてのF1原点となるサーキットである。その後、F1の舞台は鈴鹿へと移るが、2005年にコースを全面リニューアル。新生富士スピードウェイとして、今年の日本グランプリの舞台となった。そのサーキットに2度目の母国グランプリとなる左近選手が帰ってきた。

「御殿場で高速を下りた時、ああ、富士でF1をやるんだなあ、って改めて感じましたね。」と左近選手は母国グランプリの持つ独特の雰囲気を感じ取っていた。

2007.9.29
SAT
PM2:00

多くのファンに見守られ小雨と霧による曇り空のコンディションのなか予選が始まった。

左近選手はエクストリーム・ウエザーという溝の深いタイヤでアタックを開始。雨でマ

シンの性能の差が少なくなつたこともあり、トップチームとのタイム差も縮まり、途中まで中盤をキープする快走を見せる。その後、路面コンディションが改善してきたため、

タイムの出やすいスタンダード・ウエットタイヤに履き替えアタック。しかし、左近選手に不運が襲う。タイヤを履き替えてのラストアタック中にトヨタのR・シユーマツハ選手に後方から追突され、アタックが不意になつてしまった。それでも、レース後には、エクストリーム・ウエザーとのバランスがよく、明日の決勝が雨ならチャンスはある」と答へ、常に前向きな姿勢を崩さなかった。

2007.9.30
SUN
PM1:30

F1日本GP決勝
富士スピードウェイ
イは、31年前を彷彿とさせる、冷たい雨が降り続くウエットコンディション。

天候の回復が見込まれないこともあり、レースはセーフティカー先導によるローリングスタートとなった。通常



であれば2〜3周でスタートが切られるところ、この日の富士スピードウェイは雨脚がなかなか弱まらず、セーフティカーランは10周以上も続いた。そして、13週目に左近選手がピットインする。

左近「あれはチームの判断だったんです。レースが天候不良で最後まで行われず、75分を過ぎたところでチェッカーフラッグとなる可能性が考えられたので、セーフティカーランのときにそこまで走りきれぬ燃料を搭載してしまおう」という作戦だった。

そして、20週目にセーフティカーが解除され、ローリング状態からレースがスタート。

左近「セーフティカーランのときですら、視界が20m先ぐらいいままでしかなくて、ほとん

ど何も見えない中、気持ちを張りつめたまま隊列の後について走行していたので、実際にレースがスタートすると、水煙がものすごい勢いで目の前にできて、木山にどこを走っているのか分からない状況でした。だから、いつもよりマージンをとって1コーナーに向かっていったんです。それでも、1コーナーではすぐにみんなに追いついたので、ほかのドライバーも今回のスタートは相当厳しい状況だったんだと思いますよ」

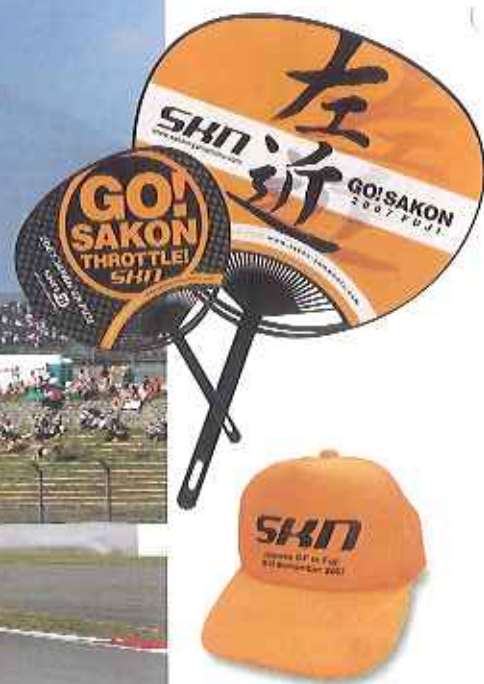
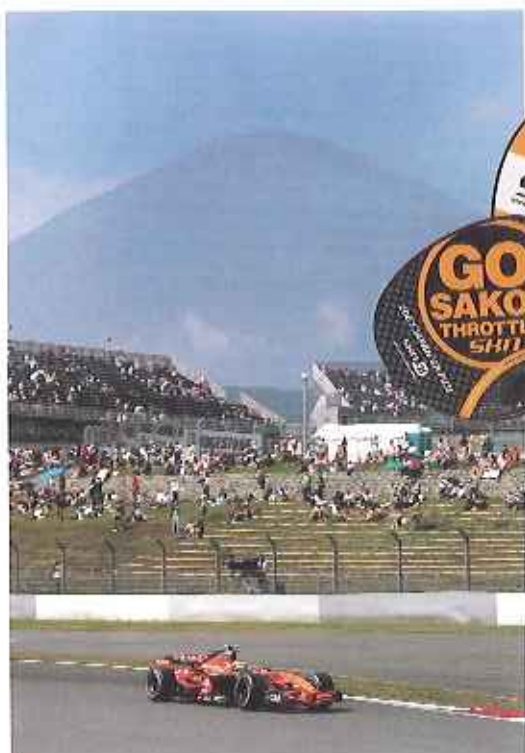
アクシデントに巻き込まれることもなく、悪コンディションの中、冷静なレースを展開。レース終盤には一時、トップ10内を走る快走を見せポイントゲッターすら感じさせる快走に応援席もヒートアップ。

左近「もちろん、ピットボー

ドや無線で順位は確認していたので、それは知っていました。だが、レース中、ほとんど前が見えない状況だったので、目の前で起きていることには全く集中していました。だから、自分が今どこを走っている、何周目で、何位なのかをゆっくり把握する余裕はありませんでした。それくらい、今日のレースは厳しかったし、そのレースで完走を果たすことができたのでいまは満足」と笑顔でレースを振り返った。

そこには多くのファンの前で2年連続日本GPを完走した充実感が漂っていた。そして、そんなベストレースのひとつを、地元日本のファンの前で披露できた喜びもあふれていた。

左近「今日のレースを戦い終えて、まず、言いたいことは、



このような悪コンディションの中、2時間以上も熱い応援をしていただいたファンの皆さんに感謝の気持ちでいっぱい。ヘアピンに進入したときなど、前方のスタンドに大勢のファンの皆さんがいる光景を見て、本当に勇気づけられましたし、母国グランプリっていいなと、あらためて感じる事ができました。だから、来年ももう一度、この

舞台に立って、今度は完走するだけでなく、結果を出して恩返しできればいいなと思っています。」

2007年日本GP決勝レース12位完走。これは昨年のドイツGPでF1デビューを果たして以来の、左近選手にとつてのベストリザルト。しかも、内容はそれ以上に濃いベストレースだった。

●雲峠富士も左近の走りを見守る

F1日本GP Photo Report

FUJI SPEEDWAY

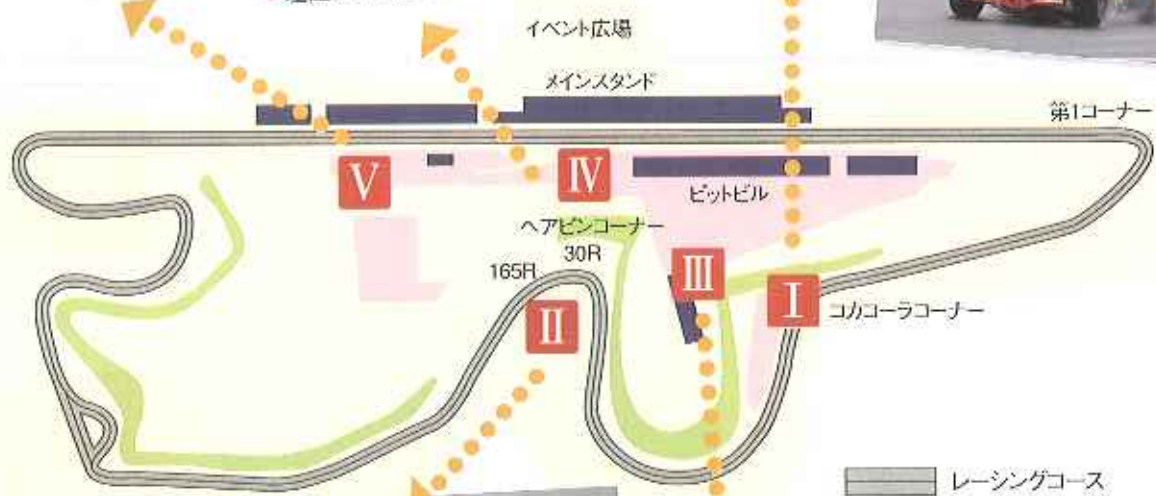
富士スピードウェイ株式会社 ● <http://www.fsw.tv>



● 12位完走を示す掲示板

● 左近選手を応援する手作りのフラッグ

● 豊橋からの応援団の前を走り抜ける左近選手



● 直線では差を縮められてもコーナーではフェラーリのマシンにさえもまったく引けを取らない

● 応援団

第26回 さわらび文化祭

～みんなで広げよう 福祉と医療の輪～

日時 2007年11月3日(土) 午前10:00～

場所 福祉村

主な企画

- 医療法人さわらび会45周年パネル展
- F1ドライバー山本左近選手パネル展・グッズ販売(キャップ・Tシャツ・タオル・SAF1ミニカーなど)
- 福祉村発表会
- イン木物産展
- 地域物産展 など



文化祭お問合わせ

軽費老人ホーム若菜荘 ☎(0532)48-1138

医療法人さわらび会45周年 パネル展

山本病院創立から現在までの歩みを写真パネルにて紹介致します。みんなの力でみんなの幸せを考えてきた福祉村病院の歴史をご覧ください。

福祉村発表会

日頃から行っているクラブ活動等を各施設が発表し、最後に全員で「ええじゃないか」を踊ります。



● もったいない作品 特選
「傘たて」
珠藻荘厨房職員共同作品

身近にある不用品を再利用し、また使える用具に変身させて利用する、日常生活の中から考えた作品が集まりました。



● 作品は珠藻荘にて
展示します。

資源再利用作品展

「もったいない」

「まちづくり出前講座」
を担当して

障害者支援施設珠藻荘 副施設長

田中力

「まちづくり出前講座」とは市民のみならず、注文に添い、自治会や子供会などで実施する会合やイベント、学校の授業などに市職員が出向いて、市役所の仕事やまちづくりのことなどのお話を、その名の通り出向いて講座を開くものです。市役所の各課から提示されたメニューの中から市民が聴きたいものを選んで参加するというスタイルで、メニューも豊富です。市政・健康・保健・環境・産業・防災等の情報を伝える内容となります。私は福祉に関する情報として福祉保健課の要請を受け小学生に講座を開きました。「障害者を持っている人たちがどんなことを頑張っているのか?」「障害者の方々は特別な存在ではない」といった内容で、私自身の話を中心にさせていただきました。

この講座は市民がほしい情報を直接講師から聴くため、情報がより伝わりやすいと講座を終えて感じました。

施設長直筆の書で
季節感を



ジュゲム施設長・金井芳之

黄金の
大地は稲の
贈り物



この夏の猛暑で稲作も大きな損失がでたと聞いていた。確かに部分的には稲が伸び過ぎたり、枯れて変色しているところもあるようだ。新幹線沿いに見渡しても、田畑によってはその変化が激しい。ここ野依の台地でも、野依街道沿いは稲穂の不揃いが目立つが、梅田川に架かる畑ヶ田橋から本郷中学への道沿いでは昨年と変わらず、黄金色の稲穂が健在で、あたり一面に秋の収穫の雰囲気を感じ出している。来年は美しい元気な稲穂がまた復活するのを望むところである。

わらわら日記

（白）9・9・16・10・15

■福祉村病院・ジュゲム

9月20日 病舎情報交換会（理事長出席）
21日 名古屋市福祉保健所主催の認知症予防教室にて伊勢弘之副院長が「認知症の予防」について講演
25日 豊橋みなとライオンズクラブ例会（理事長出席）
26日 さわらび会入社式
27日 さわらび会「成年後見制度」さわらび地域包括支援センター石川下敷
28日 豊橋市社会福祉協議会主催介護者教室にて伊勢弘之副院長が「認知症の治療と介護」について講演
10月2日 早稲浦会発表
4日 みなとライオンズクラブ合同例会（理事長出席）
5日 中ゆき会病院（山形県）主催研究会にて伊勢弘之副院長が「認知症を適切な理解する」について講演
9日 シュゲム幹部会
11日 さわらび大学「高齢者の栄養支援チーム（ANS）」福祉村病院赤津診療所
12日 愛知県看護協会主催研究会にて伊勢弘之副院長が「認知症を伴った高齢者の看護」について講演
15日 施設長会報（理事長出席）

■さわらび荘

9月16日 愛知県若狭地施設長会報（施設長 名古屋）
19日 愛知県ケアマネ協会（山口）名古屋支部
20日 豊橋市介護保険事業者等連絡会全体会
21日 施設長・渡辺徹・白井芳・山井有法発表
24日 高山・本江（公会）
25日 介護予防教室（松下・石川・浅見 石巻地区山形県）
26日 運動機能向上に繋がる検討会（松本 市役所）
27日 地域包括支援センター藤枝地域ケア会
28日 介護（石川 東部福祉センター）
29日 介護支援センター更新研修事前研修会
30日 認知症対策セミナー「ピア事業管理研修」
10月1日 認知症セミナー（栗原）
10月2日 豊橋中学校訪問

10月2日

福祉村地域ケア会議（松下 ケアコー）
3日 古鷹中学校訪問
4日 福地地域ケア会議（浅見 つつしが）
5日 守道高校介護実習（4日）
6日 地域包括支援センター研修（石川 名古屋）
7日 認知症キャラバンメイト養成講座（松下 浅見）
8日 豊橋中学校訪問

■第二さわらび荘・カサテローザ

9月10日 認定審査会（白根修）（長坂 名古屋）
16日 愛知県若狭地施設長会報（奈良 施設長 名古屋）
19日 豊橋市介護保険事業者等連絡会全体会（山本施設長・長坂・東部）
20日 愛知大学講義（山本施設長）
22日 全国小ランマイアンエスティバルあいさつ（なごや）山本施設長 名古屋
24日 豊橋市介護保険事業者等連絡会（第二さわらび荘）
25日 愛知県若狭地施設長会報（鈴木山・青崎 名古屋）

10月3日 フォントランス校（第二さわらび荘）
26日 全国若狭地正副会長・愛知県長会報（山本施設長）（東部）
27日 認定審査会（長坂 市役所）
28日 生活相談員研修（東部 名古屋）
30日 日本福祉大学就職相談会（長坂 名古屋）



「マイカイフラ」の皆さんによるフラダンスショー

認知症サポーター 百万人キャラバン

現在国では、認知症の人や家族を応援する認知症サポーターを全国で百万人養成し、認知症になっても安心して暮らせる町づくりを目指しています。認知症サポーターは、何か特別なことをやるのではなく、認知症を正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守る応援者ということになります。十月五日、「愛知県認知症キャラバンメイト養成研修」にさわらび地域包括支援センターの職員一名が参加しました。今後、認知症になっても安心な町づくりの翼を担っていきたいと思えます。

地域との交流を 「グループホーム」はりはら

はりはらでは、地域との交流を積極的にに行っています。はりはら運営推進会議に出席される地元の方よりお声をかけて頂き、地区の老人会で行う清掃活動やレクリエーション会に参加しています。十月十九日にも老人会の皆さんと一緒に楽しんできました。



さわらび大学講座案内

☆参加費無料、どなたでも受講できます

- 11月8日(木)
「高齢障害者の支援を考える～身体障害者編」
障害者支援施設 珠蔭荘 介護士長 小原 正敏
- 11月22日(木)
「高齢障害者の支援を考える～知的障害者編」
あかね荘障害者生活支援センター長 鈴木 正俊

※さわらび大学の開催は、第2・4木曜日の開催です。時間は午後3時～4時。会場は、福祉村病院会議室です。また、12～3月は風邪等の流行する季節となりますので、さわらび大学は休講とさせていただきます。尚、都合により日程及び講座が変更となることもございますのでご了承ください。

●お問い合わせ・受講申し込み
軽費老人ホーム若葉荘
☎ (0532)48-1138
FAX (0532)48-2365

開催日	開催地	内容
10月1日	明皇大・日本福祉大学受け入れ	
27日	東海地区施設長会議(施設長 名古屋)	
26日	就労支援会議	
23日	語りへの会	
22日	田原清社ヘルパー会議(施設長)	
21日	援助会議	
19日	愛知県自立支援協議会(施設長 名古屋)	
9月16日	色紙のアートキャンに参加	
12日	福祉村公園清掃活動	
11日	野依町青年児童交流会	
10日	飯沼会	
8日	食生活会議	
5日	石巻会	
4日	石巻会	
10月1日	各特別会議	
27日	岐阜なごよし	
26日	全国老健協 施設推進委員 軽費ケアハウスワーキングチーム(施設長 名古屋)	
9月18日	若葉荘 県老健施設長会議(施設長 名古屋)	
25日	若葉荘 全国老健協 施設推進委員 軽費ケアハウスワーキングチーム(施設長 名古屋)	
12日	若葉荘 県老健施設長会議(施設長 名古屋)	
10月5日	いさぎフェスタ企画委員会(石田)	
27日	東海北陸地区身体障害者施設職員研究大会(施設長・高松・佐藤 名古屋)	
9月20日	珠蔭荘 白濁会	
10月10日	白濁会	
10月11日	全国老健協 施設推進委員 軽費ケアハウスワーキングチーム(施設長 名古屋)	
10月12日	若葉荘 県老健施設長会議(施設長 名古屋)	
10月13日	若葉荘 県老健施設長会議(施設長 名古屋)	
10月14日	若葉荘 県老健施設長会議(施設長 名古屋)	
10月15日	若葉荘 県老健施設長会議(施設長 名古屋)	
10月16日	若葉荘 県老健施設長会議(施設長 名古屋)	
10月17日	若葉荘 県老健施設長会議(施設長 名古屋)	
10月18日	若葉荘 県老健施設長会議(施設長 名古屋)	
10月19日	若葉荘 県老健施設長会議(施設長 名古屋)	
10月20日	若葉荘 県老健施設長会議(施設長 名古屋)	
10月21日	若葉荘 県老健施設長会議(施設長 名古屋)	
10月22日	若葉荘 県老健施設長会議(施設長 名古屋)	
10月23日	若葉荘 県老健施設長会議(施設長 名古屋)	
10月24日	若葉荘 県老健施設長会議(施設長 名古屋)	
10月25日	若葉荘 県老健施設長会議(施設長 名古屋)	
10月26日	若葉荘 県老健施設長会議(施設長 名古屋)	
10月27日	若葉荘 県老健施設長会議(施設長 名古屋)	
10月28日	若葉荘 県老健施設長会議(施設長 名古屋)	
10月29日	若葉荘 県老健施設長会議(施設長 名古屋)	
10月30日	若葉荘 県老健施設長会議(施設長 名古屋)	
10月31日	若葉荘 県老健施設長会議(施設長 名古屋)	

「お遍路さん」

～四国八十八ヶ所めぐり～

第16回

空海という名の由来は
室戸岬にあり



福祉村病院 副院長
伊莉弘之



阿波の国（徳島県）最後の霊場第二十三番薬王寺から、いよいよ「修行の道場」上佐の国（高知県）へ。薬王寺から第二十四番室戸山明星院（むろとざんみょうじょういん）最御崎寺（ほつみさきじ）までは七十七キロ。最御崎寺は室戸岬の先端にある。道中の室戸阿南海岸国定公園の海岸線は美しいが、車でも二時間以上かかる。「海は広いな」と私。「ツたり前じゃん」と中の娘。
最御崎寺の少し手前に御蔵洞（みくらどう）という洞窟がある。ここで十八歳の弘法大師が修行



をした。洞窟の中は真っ暗で、洞窟から外を見ると目の前に広がるのは真っ青な「空」と「海」だけ。それまで「教海」と名乗っていた弘法大師は「空海」と改名した。「いいかげんな名前だね」と小三の娘。「素敵だね」と妻。

室戸岬のあたりは弘法大師の荒磯修行の場といわれている。最御崎寺は寺領が四十五万平方メートルと広く東寺と呼ばれ、第二十六番の金剛頂寺を西寺と呼ぶ。本尊は大師が刻んだ虚空蔵菩薩。突然南国にタイムスリップしたような開放的な気分になった。「暑いくらいだね」と母。

しるがねの一階と二階を結ぶ スロープが完成

しるがねは、当初一階が身体障害者、二階が知的障害者と別々のデイサービスとして作られました。そのため双方の移動手段は階段だけで、車イスや足の不自由な方の移動がたいへん困難でした。しかし、この度スロープが完成し、自由に往来できるようになりました。教室活動やカラオケ、サークル活動など、今まで移動だけで四苦八苦して参加を躊躇していた方たちも、自由に参加できるようになりました。新制度の下で、身体、知的双方の障害者の方々が活動する一つの事業所として、移動面でも生まれ変わりました。



さわらび会後援会
寄附ご芳名

- H19・9・16・10・14
- 市内牧野町九〇 伍千円
- 小松ウメ氏
- 新城市南畑七四 壹萬円
- 光田屋紳
- 市内東雲町四七 壹萬六千円
- 梅村敏夫氏
- 市内大倉町水町字宮上見八〇四一 壹萬円
- 松松谷建設
- 市内小池町三六一 伍千円
- 共和印刷様
- 市内高塚町神田六八 伍千円
- 田京敏明氏
- 市内中岩田三丁目一三三 壹千円
- 白井良治氏
- 市内弥生町西豊和九一九 壹萬円
- 林昭氏
- 市内豊明三〇 壹萬円
- 藤中野新松商店
- 市内瓜郷町前川五〇一 壹萬円
- 鈴木弘生氏
- 市内東新町三二四 壹萬円
- 藤日医工新和
- 市内岡屋町五九五 壹萬円
- 株スズケン
- 市内東田町五四 壹萬円
- 御竹田商店
- 市内飯村北二丁目六一六 壹萬円
- 倫流川器械店
- 市内東脇三丁目一七一 壹萬円
- 森田山利子氏
- 市内白河町一〇〇 壹萬円
- 中部ガス様
- 市内神野埠頭町二 壹萬円
- 神野臨海様
- 市内野依町山中一九一四 四
- 福祉村病院職員有志
- 匿名希望氏 四千円
- 匿名希望氏 伍拾萬円
- 匿名希望氏 壹萬円
- 匿名希望氏 壹萬円
- 匿名希望氏 壹萬円

その他匿名希望多数の方より
ご寄附頂きました。
計 六拾九萬六千円
現在までにご寄附いただきました金額は
八億壹千七百貳拾萬 八百七拾伍円

インド福祉村協会
寄附ご芳名

- H19・9・16・10・14
- 静岡県浜松市東区中津町八七七 参千円
- 竹内加奈子氏
- 名古屋市中区新栄一七七一 二
- 名古屋市中区新栄一七七一 二
- 東海労働金庫 四千五百円
- 名古屋市中区昭和区山花町五〇 医療法人 生寿会
- 理事 長 酒井安氏
- 長野県小諸市宮島町三丁目八八 伍萬円
- 田中政征氏 壹萬伍千円
- 長野県小諸市宮島町三丁目八八 〇
- 田中美佐保氏 壹萬伍千円
- 瀬戸市萩山台一四九 壹萬円
- 水田忠男氏 壹萬円
- 株式会社アクティシステム 参拾萬円
- 計 参拾九萬七千壹百円

募金方法(インド福祉村)
振込先
郵便振替・郵便振込 口座番号
〇〇八三〇二一六五〇〇八
インド福祉村協会
連絡先 郵便老人ホーム若菜荘
番四八一一三三八まで

お礼コーナー
ありがとうございました

※印は出羽橋喜三銀行を通して
▼角丸堂様
栗さんとん※
(明日香)

よべる100



送信機



受信機

息子さん夫婦と同じ敷地内に住んでいるSさん御夫婦(要介護3の御主人を奥様が介護されています。)は、この呼び出し装置を使い、安心して在宅で介護されています。

- 携帯型呼び出し専用アラーム(音と光でお知らせ)
- 無線到達距離 約50m
- 音量3段階調整機能付
- ペンダント型送信機2個同時使用可能
- 浴室などでも使える防水袋付

問い合わせ先

- 福祉村指定居宅介護支援事業所 ☎(0532) 46-3566
- さわらび指定居宅介護支援事業所 ☎(0532) 51-3521
- 福祉村病院訪問看護部 ☎(0532) 46-7521(代)
- 福祉サービス ☎(0532) 66-1011

株式会社アクティシステム様
ありがとうございました。

株式会社アクティシステム 代表取締役社長 山下昭二様はじめスタッフの皆様から、同じインドで活動する私たちのお役に立てただければとご寄附をいただきました。ご浄財は、インドのみなさまの医療、福祉の向上のために有効に活用させていただきたいと思っております。



赤い羽根街頭募金

10月20日出さわらび会では、豊橋まつりで賑わう豊橋駅前周辺で募金活動を行いました。



ご協力ありがとうございました。

街頭募金額・貳拾六萬伍千伍百九拾貳円

芸術の秋を

彩る。

第26回 さわらび文化祭

秋陽展

利用者・職員・家族の作品から



● 手工芸部門 **特選**
「月明の海に翔ぶ鶴」
村越 健吾さん(あかね荘職員)



● 手工芸部門 **特選**
「モンスターハウス」
大島 康之さん(あかね荘)

● 書道部門 **特選**
「心の持ちようで」
古川 竹一さん(ジューグムデイケア利用者)

真心で興に暮らせば
感謝の笑顔が有れば
老化は進行を
抑制出来る
デューグムデイ

みんなの力でみんなの幸せ

2007年11月1日発行 早蕨 第415号
(昭和62年2月21日第二種郵便物認可)
充実した医療と福祉

- 特別養護老人ホーム さわらび荘 ☎(0532)54-3501
- 特別養護老人ホーム 第二さわらび荘 ☎(0532)48-1138
- ケアハウスカサ デ ローザ ☎(0532)37-1209
- 延命老人ホーム 若葉荘 ☎(0532)48-1138
- 障害者支援施設 珠藻荘 ☎(0532)47-1050
- 知的障害者支援施設 あかね荘 ☎(0532)48-2825
- 福祉村病院 ☎(0532)46-7511
- 知的障害者施設 明日香 ☎(0532)46-6579
- 福祉村障害福祉サービス事業所 しるがね ☎(0532)48-1032
- 福祉コンビニ(東山町) ☎(0532)69-5666
- 第二福祉コンビニ弥生 ☎(0532)38-9090
- さわらび会障害者居宅介護事業所 田原 ☎(0531)24-0722
- 福祉村老人保健施設 ジューグム ☎(0532)46-7501
- 田原市障害者生活支援センター(市営施設) ☎(0531)45-3828



さわらび会

編集責任者: 成田和敬 (印刷: 共和印刷) 定価: 100円

表紙作品: 秋陽展絵画部門特選「花と壺」 古瀬 てつ(カサデロ ヴァ)

編集後記

それぞれの人に夢や希望がある。個人やみんなの思いを実現することは本来に難しい。物事には表があれば必ず裏もある。相反するかに見える二つのものが、根本では密接につながっていることもあれば、表面に現れた態度と内心は違う場合もある。仕事柄多くの人の思いを汲み取り、それを実現できるように絶えず努力はしているものの、上手くいかないこともある。ただ、人生に無駄はなし」と言われるように、今は良い結果が得られなくても、いつかきつと叶うと信じて前に進みたい。諦めては叶うものも叶わなくなる。あと、歩、いやあと半歩踏み出せばよい結果が待っているかもしれない。私たちの思いははつきりしている「みんなの力でみんなの幸せを」 (武出)